

## 特集 2020年を振り返る

# 第1章 2020年の出来事



「2020年を振り返る」執筆チーム

2020年を振り返ることは、コロナ禍を振り返ることと同義だ。そう書かざるをえないくらいに、新型コロナウイルスは世界中の経済活動をひっくり返してしまった。1年前は、世界情勢の不確実性が増し、先が見通しにくいという不安が囁かれつつも、新元号発表や近づく東京オリンピック・パラリンピックに沸き立った世の中であった。たった1年でこうなることを誰が予測できただろうか。

生活面では、新型コロナウイルスとの共生を想定する「新しい生活様式」が公表され、ソーシャルディスタンスの確保が常識となった。外出自粛要請により旅行や多くのイベントが中止になったが、「巣ごもり需要」増加の動きもあった。

働き方の面では、昨年まで東京オリンピック・パラリンピック開催時の混雑回避のための手法とされたテレワークが、感染拡大防止の観点から一気に普及した。時差出勤や在宅勤務が日常となり、ウェブ会議や「オンライン飲み会」が定着した。リモート下での社内コミュニケーションの在り方を試行錯誤しつつ、それぞれの方法で生産性を高める工夫を手探りした。通勤手当を廃止する企業も出始め、パソナのように地方に本社機能を移す大企業も現れてきている。

経済面では、緊急事態宣言が発出された4～5月は経済活動が大きく制限され、深い景気の落ち込みが見られた。倒産も増え、生産活動の制限から雇用にも影響が出て、完全失

業者数も増加している。中小企業ほど打撃は大きい。

本特集は、コロナ禍と戦う中小企業と支援者の状況を、5つの切り口からまとめた。コロナ禍からの回復にはまだ時間がかかると見込まれるが、わずかでも皆様のご参考になれば幸いである。

図表 2020年を振り返る（2020年11月20日現在）

時期	出来事
1月	日本初の新型コロナウイルス感染者を確認（16日、中国・武漢市滞在の30歳代男性）
2月	横浜に入港したクルーズ船で新型コロナウイルス感染者を確認 首相が全国の学校に休校を要請
3月	東京オリンピック・パラリンピックの延期が決定
4月	緊急事態宣言を発出 新型コロナウイルスの国内感染者1万人突破 同一労働同一賃金適用開始（中小企業は2021年から）
5月	緊急事態宣言を全面解除
6月	5月の訪日外国人旅行者数は前年同月比99.9%減の1,700人と、最少を更新
7月	熊本豪雨
8月	新型コロナウイルスの国内感染者5万人を越す 安倍首相、辞任表明
9月	パソナ、淡路島に1,200人移転を発表
10月	最低賃金引上げ、全国加重平均902円に